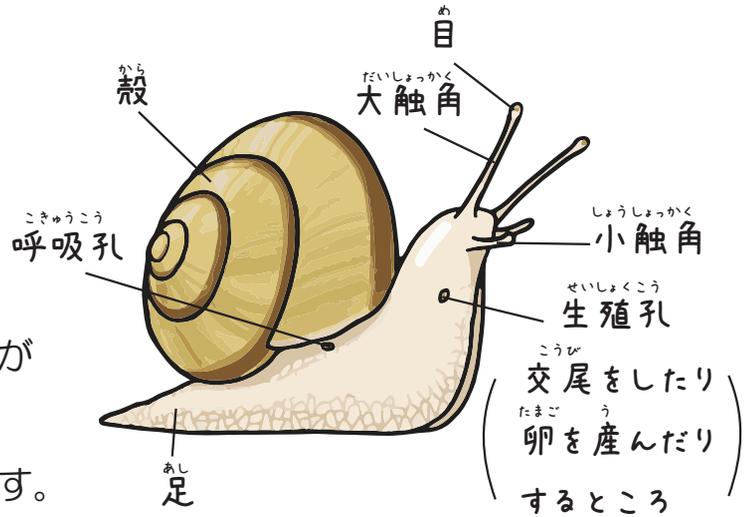




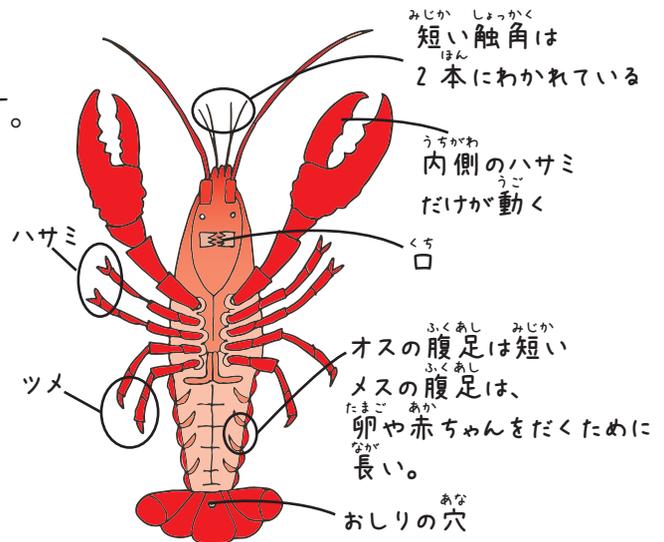
1 カタツムリ

カタツムリは、海にすむサザエや池にすむタニシなどと同じ貝のなかまです。カタツムリも大むかしは水の中にすんでいたのので、陸の上ですむようになっても、雨のふる日やしめったところが大好きです。やわらかい草や木の葉、枯れた木の皮などを食べてくらしています。



2 アメリカザリガニ

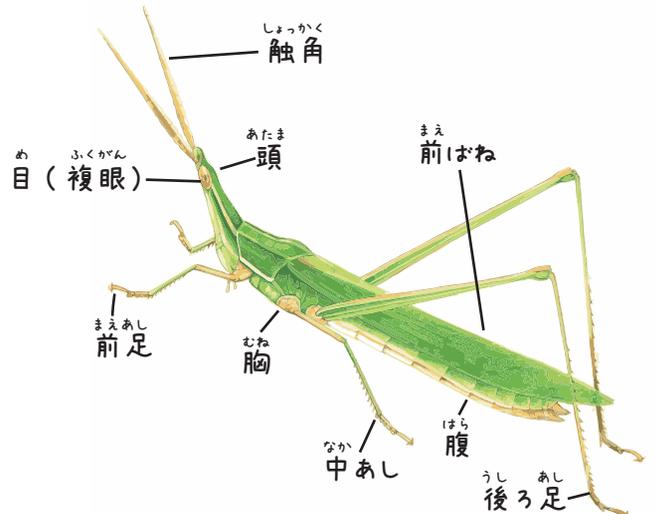
アメリカザリガニは、大きなハサミが特徴です。名前の通りアメリカから、ウシガエルのエサとして、持ち込まれました。それが逃げたり捨てられたりして、日本中に広がりました。水田、用水路、池や沼など、水深が浅くて流れのゆるい泥底の環境に多くすんでいます。雑食性で、藻類、水草、魚類、両生類、昆虫、動物の死がいなど何でも食べます。



参照「かっぱ印川あそびブック」阿部夏丸著 プロンズ新社

3 ショウリョウバッタ

頭は前に突き出てとがり、前ばねの先も鋭くとがった大きなバッタです。特にメスは大きく、8cmにもなります。オスは細身で4~5cm程度です。緑色型と褐色型があります。明るい原っぱでよく見られ、住宅地周辺にも生息しています。オスは、飛ぶ時に「キチキチ」という音をたてます。



参照「いろいろなむし 田中・セミ・バッタ」まつばらいつき著 旺文社